



こころの虹

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKCRO no KAKEHASHI

♥ホームページ URL <http://www.oikawahp.net> ♥Eメール address info@oikawahp.net

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-0014
福岡市中央区平尾2丁目21-16
TEL 092-522-5411

No. 39 2017年3月 発行

基本理念

及川病院のめざすこと、その役割と大切なこと

親切

私たちは親切な対応とわかりやすい説明を心がけ、患者様の身になって行動しています。

信頼

私たちは患者様の一日も早い回復、社会復帰を願い、信頼され心の通い合う医療に努めています。

専門

私たちは、乳癌医療及び緩和医療を担う専門病院として、専門的な知識や技術を集結したチーム医療を実践します。

進歩

私たちは常に新しい医療とそれを取り巻く環境を学び、より優れた医療の提供を目指し進歩し続けます。

平成29年スタートし、早くも3月を迎えています。皆様にとりまして幸多き1年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

専門病院の使命とは何か、一つは最新情報の提供や技術の取得、二つ目は見える方々のニーズに応えることではないかと考えています。これだけ情報社会になっていても、正しい情報がいち早く入ってくる環境を作るのは容易ではありません。スピードも勿論ですが、『正しい』ということがとても重要です。当院では毎月、がん研有明病院乳腺センター長 大野真司先生にお越しいただき、セカンドオピニオンと患者様向けの懇談会『おいかわカフェ』を催して頂いております。国内外の学会での情報を交えた話は私どもにも大変有意義な内容です。

また、当院の及川将弘医師は1年間アメリカのMDアンダーソン病院へ研究留学致しました。現地では、遺伝性乳がんに関する研究を致します。帰国後はその成果を広く診療に生かしてまいります。

一方で患者様のニーズは必ずしも私ども医療者が拠り所とするガイドラインに沿ったものばかりではないようです。よくお話やご希望をお聞きし、ご納得頂ける医療サービスを提供していくかも大切な課題だと考えています。

そして今年の秋には、医療サービスをより受けていただきやすい展開を準備中です。今後も近隣の先生方やスタッフと共に、より高い専門性を目指してまいります。



乳がん検診無料クーポン券の締切迫る

平成21年度の補正予算によって、全国の市区町村では、女性特有のがん（子宮がん、乳がん）の早期発見・早期治療と、がん検診の大切さを伝えることを目的として、一定年齢に達した女性を対象に、乳がん検診・子宮頸がん検診が無料で受けられるクーポン券を送付しています。

当院では、乳がん検診無料クーポン券をご使用できます。



無料クーポン券の配布対象者は、次の生年月日に該当する人です。

【対象者】 40歳(昭和50年(1975)4月2日から昭和51年(1976)4月1日生まれの方)

【有効期限】 平成28年7月1日から平成29年3月31日まで

2016年秋より、米国のMD Anderson Cancer Centerに留学することとなりました。このような機会を与えて頂いた、リレー・フォー・ライフ・ジャパンの患者様、日本対がん協会の皆様、そして及川病院のスタッフの皆様に深くお礼申し上げます。

MD Anderson Cancer Centerはテキサス州ヒューストンにある、全米でも1,2を争う規模のがんセンターです。” Making Cancer History (がん撲滅の歴史は我々が作る)” を合言葉に最先端・高度ながん医療を提供しており、U.S. News & World Reportのベスト・ホスピタルがん部門においても、ほぼ毎年トップを獲得しています。様々な職種・科の医療スタッフが連携して集学的治療を行うチーム医療は特に評価されており、毎年多くの医療者が日本からも見学に訪れています。また、最新の基礎研究の結果を実際の治療へつなげるトランスレーショナルリサーチ（橋渡し研究）も大変盛んで、過去5年にFDA（アメリカ食品医薬品局）で承認された新規がん治療薬の約3分の1がMD Anderson Cancer Centerが関わった臨床研究から生まれているそうです。

今回、私はMD Anderson Cancer Centerの中のGenetics（遺伝学）部門にVisiting Scientist（客員研究員）として留学し、乳がんゲノムに関する研究を行う予定です。具体的には、一つの乳がん細胞よりDNAを抽出し、ゲノムの変化を解析する単一乳がん細胞ゲノムシーケンスを中心に研究を行います。これにより新たな乳がん発癌の原因や機序が明らかになるかもしれません。そして、その研究結果が新たな乳がん治療法や治療薬の開発に繋がることを期待しています。もちろん、基礎研究だけではなく、MD Andersonの優れた医療システムやがん患者さんのサポートシステムについても学んで来ようと考えています。不在中は多くの患者様にご迷惑をおかけしますが、必ず皆様のお役にたてるようなものを持って帰りますので、どうぞご期待ください。

2017年 お屠蘇・初釜

新年明けましておめでとうございます。

1月1日に患者様・ご家族にお屠蘇を味わっていただきました。

お屠蘇は1年間の邪気を払い長寿を願ってお正月に飲む縁起物と言われています。皆さんの笑顔が今年も見られますように・・・



栄養科だより

新年明けましておめでとうございます。今年のおせちにも、長生きの象徴であるえびや、丈夫・健康を意味する黒豆、細く長く幸せにという意味を持つごぼうなど縁起の良い料理がたくさん入っています。皆様にとって、幸多き年でありますよう心を込めてご用意致しました。

栄養科では、今年も様々なイベントを予定しております。入院生活中でも食を通して季節を感じて頂けたらと思っております。

献立

- ・十穀米 ・雑煮
- ・紅白なます ・数の子
- ・たたきごぼう ・黒豆
- ・つくねの味噌焼き
- ・海老しんじょ揚げ
- ・結び昆布 ・きんかん
- ・千草蒸し ・がめ煮
- ・ぶりの照り焼き
- ・きんとん ・あんず寒



部署紹介（医事課編）

私たち医事課は、病院の窓口として丁寧な対応とわかりやすい説明を心掛けています。及川病院の『顔』として長く勤めてきました課長以下、まだ半年余りの新人までの混成チームですが、自分たちにできることを一所懸命やろうという思いはみんな同じです。病院に来るといふ不安の中で、私たちの笑顔や言葉が少しでも患者様の支えになれたと思いながら、日々の業務に努めています。治療費や保険の手続きなど複雑でわかりにくい制度もたくさんあります。お困りのことはどうぞお気軽にご相談ください。

頼りにされる医事課を目指して、これからも日々頑張っまいります。



これから、しばらくは乳癌の手術後に再発リスクを低下するための全身治療について述べます。

・サブタイプによる乳癌術後補助療法の選択（続き）

乳癌は簡略化すると4つのサブタイプに分類され、それぞれ悪性度が異なり、治療（ホルモン療法、化学療法、分子標的治療）に対する感受性が違うことは前に述べました。再発の予測や術後補助療法が必要か、どの治療法がよいかを選ぶ手段となります。

さて、現実に戻りますと、現在、わが国では免疫組織化学的に測定したIHC4法（ER、PgR、HER2、Ki-67）により、予後の予測と術後補助療法の選択が行われています。HER2のIHC法で分類不能の際には、蛍光インサイテュハイブリダイゼーション法（FISH）によりHER2遺伝子の増幅を検出し、確認します。このような、比較的安価な方法でも、遺伝子発現プロファイル解析によるサブタイプ分類に匹敵する情報が得られます。

もちろん、当院でも乳癌の全例にIHC法を行っています。実際にエストロゲンレセプター（ER）を免疫染色した写真を示します。乳癌細胞の核が強く濃褐色に染まっています。これによりER陽性と認定し、全乳癌細胞の何パーセントが陽性であるかを決定します。これらの4つの因子の陽性、陰性の組合せにより乳癌の再発リスクと術後補助療法の選択が決定できます。また、腫瘍の大きさやリンパ節転移の有無、数により、さらに詳しい分類ができるという報告があります。